クリニカルパスウェイ
食道亜全摘術を受ける患者さんへ

2018年11月作成
2025年12月改訂
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　患者氏名　@PATIENTNAME

	外科外来	入院日・手術前日	手術当日		術後1日目	術後2～3日目	術後4～6日目	術後7日目以降	退院後の生活
日時	月　日	月　日	月　日　時頃		月　日	月　日～　月　日	月　日～　月　日	月　日～　月　日	月　日
目標	□手術に向けて体調を整えましょう □疾患、術式を理解した上で術式選択をしましょう	□手術の準備をしましょう	＜手術前＞ □安全に手術が受けられるように準備をしましょう	＜手術後＞ □身体の回復を促しましょう	□術後の回復を促すため、出来る限り離床をおこなっていきましょう	□術後の回復を促すため出来る限り離床をおこなっていきましょう	□安全に離床をおこない、身体の回復を促していきましょう	□退院に向けて全身状態を整えていきましょう	□診察後、午前中に退院となります
食事	□特に制限はありません □栄養バランスのとれた食事を心がけてください 	□手術前日より絶食です □飲水に関しては麻酔医より指示があります	□絶飲食です 	□絶飲食です	□医師指示にて、経腸栄養が開始となります	□経腸栄養は継続していきます □医師の指示により氷や飲水が開始となります	□医師の指示にて食事開始となります（腹部症状や飲みこみの状態で食事内容は変わっていきます） □医師からの指示がでるまでは病院食以外は摂取しないようにしましょう	□経口摂取と経腸栄養は継続していきます	□退院時の食事内容を継続し、摂取するようにしましょう □医師の指示により、経腸栄養は継続していきます
活動	□特に制限はありません	□特に制限はありません	□手術着、手術用下着、弾性ストッキングに着替えてください	□ベッド上安静です	□ICUで可能な範囲でリハビリを始めていきます。看護師と一緒に身体を動かしていきます。	□看護師と一緒に体を動かしていきます	□看護師と一緒に身体を動かしていきます	□特に制限はありませんが管には気を付けましょう	□特に制限はありません
検査処置	□手術に必要な検査をおこないます （採血・尿検査・レントゲン・呼吸機能検査・心電図など）	□必要時、他科の診察があります □お臍の処置があります □必要時、前々日の夜、前日に下剤の内服があります		□ICUに入室します □酸素投与をおこないます □ドレーンが挿入されてきます	□採血・レントゲン検査があります □傷の状態、ドレーンの性状・量などを観察します □鼻の管は歩行が問題なければ抜きます	□術後3日目または4日目に採血・レントゲン検査があります □歩行が問題なくおこなえた場合は尿道の管を抜去します	□医師診察のもと、ドレーンを抜去します □術後7日目頃に採血・抜鉤があります	□術後7日目に採血・レントゲン検査があります □管の抜去時期は検査結果をもとに医師が調整します	□外来予約票をお渡しします
薬	□手術前に休薬する薬がある場合は期日を守ってください □市販薬・サプリメントは手術に影響するものがあるため、2週間前より服用しないでください □入院時に常用薬をお持ちください	□入院後、薬の内容を確認しますのでご持参ください □常用薬は医師の指示に従い、内服してください □薬剤師からお薬の説明があります	□常用薬は医師の指示に従い、内服してください 	□常用薬は中止 □抗生剤の点滴をします □適宜、痛み止めや吐き気止めの点滴をします	□点滴があります 	□点滴があります □常用薬は医師の指示に従い再開します	□点滴から内服薬に切り替わります	□医師の指示に従ってください	□医師の指示に従ってください
清潔	□特に制限はありません	□入浴してください □爪を切ってください □ネイルは落としてください	□入浴はできません	□適宜うがいをして、口腔内を清潔に保てるようにしましょう	□入浴はできません □尿の管が入っているため一日一回陰部の洗浄をおこないます □全身を蒸しタオルで拭きます	□洗髪ができます。必要時は看護師が介助しますので、お声掛けください	□ドレーンが抜けた翌日から全身シャワーに入ることができます		□特に制限はありません
指導説明	□入院・手術についての説明があります □喘息やアレルギーがある方は医師・看護師に知らせてください □喫煙されている方は、術後に痰が多くなりやすく、傷の回復に影響を及ぼす可能性がありますので禁煙に努めてください	□病棟案内があります □看護師より手術前後の説明があります ＜入院時必要物品＞ □常用薬7日分 □同意書一式 □この説明書 □日常生活物品		□手術部位の管（ドレーン）を引っ張らないように注意しながら、寝返りをうつことができます。身体で管をつぶしたりしないよう気をつけてください	□手術部位の管（ドレーン）を引っ張ったり、身体の下に巻き込んだり、臀部で踏んだりしないよう気をつけてください □痛みや吐き気は我慢せずに看護師に伝えましょう	□管（ドレーン）を引っ張ったり、身体や臀部で踏まないよう注意してください □痛みは我慢せずに医療者に伝えてください	□創部を清潔に保てるよう心がけましょう □食事が開始されたらゆっくりよくかんで摂取するようにしましょう	□看護師より退院後の生活について指導をおこないます ・経腸栄養の管理 ・創部の清潔について ・異常時の事について □栄養部から栄養指導をおこないます	□創部に発赤や腫脹・熱感・疼痛がある場合は、電話連絡の上、外来受診してください □暴飲暴食はしないでください

《連絡先》　東京慈恵会医科大学西部医療センター　TEL:03－3480－1151